

株式会社ヒガシホールディングス (9029) IRミーティング(会社説明会)

2025年12月5日

1

会社紹介

2

成長戦略

3

決算概要

4

株主還元

5

トピックス

6

進化を続けるヒガシグループ



社名の由来

大阪貨物自動車運輸株式会社を始めとする運送会社13社が統合し、大阪市の旧東区（現在の中央区）において当社の前身である大阪東運送株式会社を設立。
その後、社名変更を経て、現在のヒガシホールディングスに至る。

シンボルマーク

21世紀に向けて大きくはばたく「ヒガシグループ」の姿を5つの扇で表現
オレンジは情熱を、ブルーは安定を表しています。

名称	株式会社ヒガシホールディングス
本社所在地	〒540-0013 大阪市中央区内久宝寺町3-1-9
設立	1944年12月20日
代表者	取締役 代表執行役社長 児島 一裕
上場市場	東京証券取引所スタンダード市場 (証券コード:9029)
資本金	10億円
グループ会社	11社
従業員数	連結: 1,603名(2025年3月31日現在)

創業期(-1970年代)

- ・1944年 大阪市東区内の運送会社13社が統合し、大阪東運送株式会社設立
- ・1947年 日本生命保険相互会社が資本参加
- ・1968年 倉庫事業を開始
- ・1979年 東京営業所を開設し、首都圏へ進出



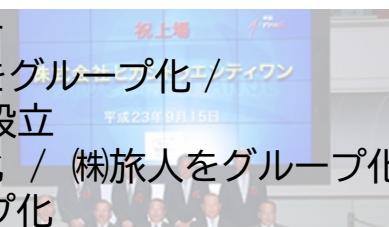
事業多角化(1980年-2000年代)

- ・1988年 ドキュメントサービスを開始
- ・1989年 産業廃棄物収集運搬業許可を取得
- ・1996年 ビル内デリバリー事業を開始
- ・2002年 ヒガシトウエンティワンに社名変更
- ・2003年 福祉用具レンタル及び販売事業を開始
- ・2005年 ジャスダック証券取引所に株式を上場



総合物流企業へ(2010年代以降)

- ・2011年 東京証券取引所市場第二部に上場
- ・2016年 ユートランスシステム(株)をグループ化
- ・2017年 (株)イシカワコーポレーションをグループ化/ (株)トランスポート21を設立
- ・2018年 (株)FMサポート21を設立
- ・2019年 指名委員会等設置会社へ移行
- ・2020年 (株)ワールドコーポレーションをグループ化 / ヒガシオフィスサービス(株)を設立
- ・2022年 山神運輸工業(株)をグループ化 / (株)旅人をグループ化
- ・2024年 (株)ネオコンピタンスをグループ化
- ・2025年 4月:(株)ヒガシホールディングスに社名変更し持株会社化
中核事業会社として(株)ヒガシトウエンティワンを設立
6月:(株)ピアレスをグループ化



特徴的な取組

- 1968年に業界でいち早く”車両と荷物のマッチングサービス”(傭車制度)を導入、協力会社を囲い込み
- 1996年に東京オペラシティビルにデリバリーセンターを開設、「館内物流事業」の先駆け
- 1986年にオフィス移転専門部署を設立
2020年に全国でも珍しいオフィス移転専門会社(ヒガシオフィスサービス(株))として分社化
- 2016年にインフラ会社向けとしては珍しい、資材の購入・配給数の管理・調整業務を、2021年からは電設資材の仕入れ・販売業務(商社機能)をスタート



ヒガシホールディングス
HIGASHI HOLDINGS CO.,LTD.

経営戦略策定、資源の再配分、グループガバナンスの強化



株式会社ヒガシ21
HIGASHI TWENTY ONE CO.,LTD.

運送及び倉庫事業全般、3PL事業、IT関連事業、介護サービス事業 等

U-TRANS SYSTEM

精密機器の運送及び設置等

ISHIKAWA
CORPORATION

【物流】保管、梱包、封入、発送業務
【人材・ITサービス】企業様向け
受託業務



FM SUPPORT 21

ビル館内における
総務サービス業務



TRANSPORT 21

運送事業に特化

WORLD
ワールド引越サービス

引越に関わる荷役及び梱包等



オフィっこし!なら

ヒガシオフィスサービス

事務所移転業務・引越に関連する
ワンストップサービスの提供



重量物配達・エンジニアリング事業
(機械据付・メンテナンス等)

TABITO

システムに関する
技術サポート全般

NEOCOMPETENCE

人材派遣事業に特化(※)



誠意で届けるイノベーション
株式会社ピアレス

ICT機器の導入、保守・運用

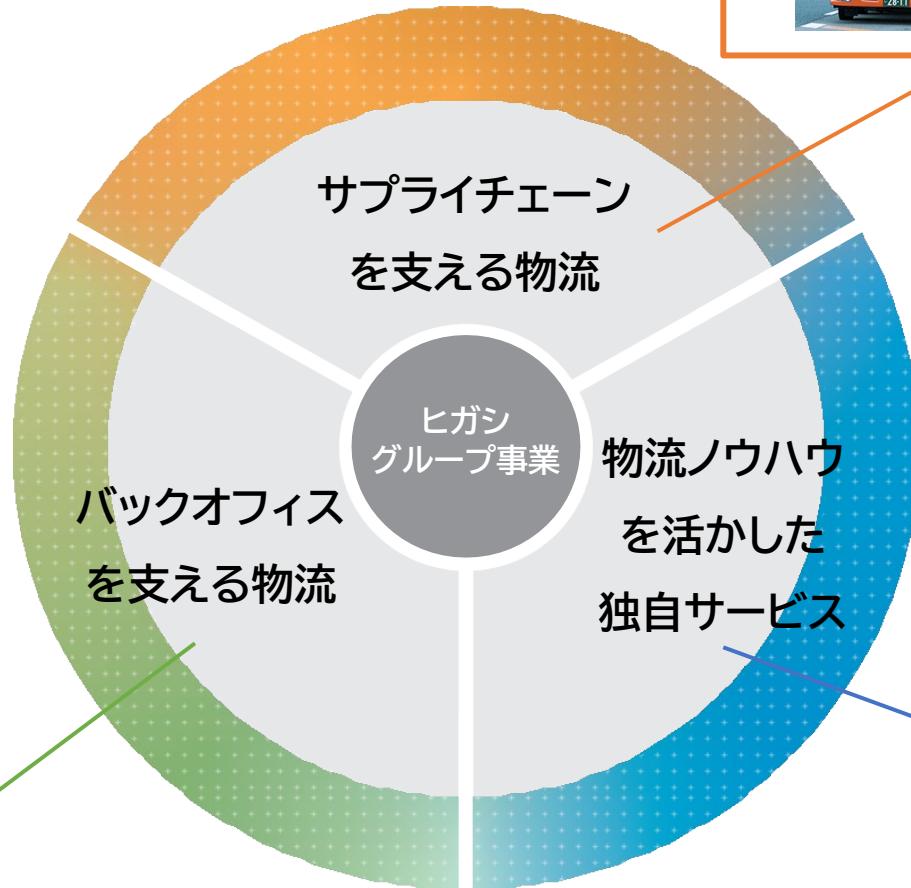
※傘下に子会社1社(ネオコム社)を有する

輸配送を祖業としながら
独自性・競争力のある多様な事業展開に
よって、幅広い収益ウィングを確保

- オフィスサービス事業



- ビルデリバリー事業



- 一般物流事業



- 3PL事業



- ITサービス事業



- 介護サービス事業



サプライチェーンを支える物流

一般物流事業

- **輸配送業務、倉庫保管**
- 物流加工
袋詰め、検品、組立など物流過程で発生する加工業務
- 産業廃棄物管理
PCB等の特別産業廃棄物の取扱いも可能
- **機密書類保管、機密書類溶解、社内文書物流
(総務系物流)**
- 人材派遣(倉庫作業や短期イベント等)



3PL事業

- インフラ会社向け資材購入、保管、資材加工、配送
- **大手EC向け入荷、保管、出荷、配送**
- 上記の他、物流業務を包括的に受注する
高度な物流サービス



【関連グループ会社】

(株)ヒガシトウエンティワン／ユートランスシステム(株)／(株)トランスポーティ21／
(株)ワールドコーポレーション／山神運輸工業(株)／(株)ネオコンピタンス

【関連グループ会社】

(株)ヒガシトウエンティワン

バックオフィスを支える物流

オフィスサービス事業

- **オフィス移転** (数千名～5名程度の小規模まで)、オフィスフロアのレイアウト変更
- 移転に伴う不要什器や備品の買取・廃棄
- 企業の一斉赴任引越・個人引越



虎ノ門アルセアタワー
(提供:日鉄興和不動産株式会社)



Hareza Tower

ビルデリバリー事業

- **館内物流**
- メール室業務(業務代行/メール室への人材派遣)
- ビル内テナント様向け**総務代行業務**
(備品購入代行や印刷物の封入・封緘・発送代行等)



六本木ヒルズ



グラングリーン大阪
(提供:グラングリーン大阪開発事業者)



ツイン21

物流ノウハウを活かした独自サービス

ITサービス事業

- **IT機器(PC・サーバー・業務用スマホ)**のキッティング、現地セッティング、保守・メンテ、データ消去→廃棄までのワンストップサービス
- **POS端末等**のシステム機器の設置・保守・ヘルプデスク対応やITエンジニアの**人材派遣**など、システムに関する技術サポート全般



介護サービス事業

- 介護支援事業者様向け**福祉用具レンタル**及び**販売事業**
- 商品配送・現地組立て・自社専用消毒メンテナンス施設での保守修理から不用品の引取りなどのワンストップサービス



【関連グループ会社】

(株)ヒガシトウエンティワン／イシカワコーポレーション(株)／(株)旅人／
(株)ピアレス

【関連グループ会社】

(株)ヒガシトウエンティワン

売上高・経常利益推移(直近10年)

1

会社紹介

売上高

(億円)

525
500
475
450
425
400
375
350
325
300
275
250
225
200
175
150

176

181

194

208

234

251

244

279

348

406

481

2015年3月期比

2.7倍

2015年3月期 2016年3月期 2017年3月期 2018年3月期 2019年3月期 2020年3月期 2021年3月期 2022年3月期 2023年3月期 2024年3月期 2025年3月期

経常利益

(億円)

35
30
25
20
15
10
5
0

7.2

7.3

7.0

8.1

9.2

10.5

12.8

16.7

20.2

23.0

29.3

2015年3月期比

4.1倍

2015年3月期 2016年3月期 2017年3月期 2018年3月期 2019年3月期 2020年3月期 2021年3月期 2022年3月期 2023年3月期 2024年3月期 2025年3月期

1

会社紹介

2

成長戦略

3

決算概要

4

株主還元

5

トピックス

6

進化を続けるヒガシグループ

2025年3月期で中期経営計画2026の目標数値(売上高450億円、経常利益28億円)を超過達成したことから、

中期経営計画2026を1年前倒しで終了し、新たに中期経営計画2028を策定

- 本計画では、2026年3月期からの3か年を「プライム市場昇格へ向けたファンダメンタルズを完成させる3年」と位置付け、プライム市場昇格という新たなステージを目指す
- 最終年度となる2028年3月期は、売上高550億円、経常利益35億円を掲げている

<経営目標数値>

	2025年3月期 実績	2026年3月期 中計2026目標	2028年3月期 中計2028目標
売上高	481億円	450億円	550億円
経常利益	29億円	28億円	35億円
1株当たり配当金	42円00銭	40円00銭	57円00銭
ROE	14.0%	8%以上	8%以上
配当性向	30.7%	30%以上	30%以上
従業員数	1,603名	1,700名	1,800名

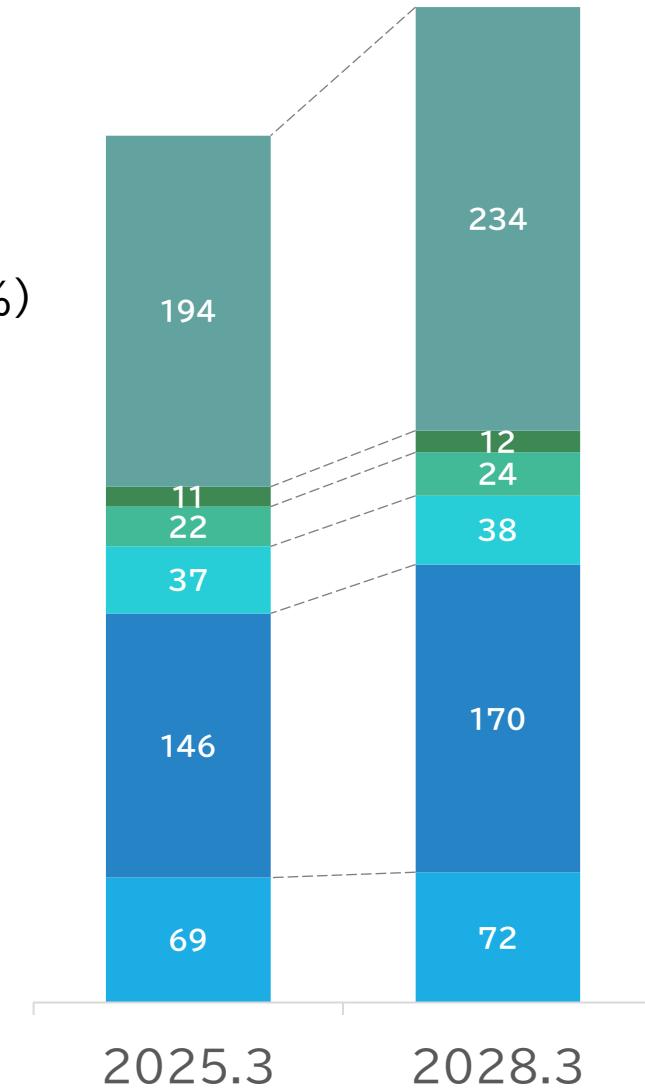
<事業領域別数値目標(売上高)>

■ 一般物流事業

234億円(43%)

■ オフィスサービス事業
72億円(13%)

合計 (2028年3月期)

550億円■ 3PL事業
170億円(31%)■ 介護サービス事業
12億円(2%)■ ITサービス事業
38億円(7%)■ ビルデリバリー事業
24億円(4%)

3PL事業	<p>大手EC向け業務の収益基盤強化及び 大手インフラ会社資材3PL等、3PL事業の拡大</p> <p><u>大手EC向け3PL</u></p> <ul style="list-style-type: none">既存LCの安定稼働、収益化及び更なる事業拡大を見据え、「庫内作業標準化」、「データ管理による業務効率化」、「人材採用、人材育成」等を通じ収益基盤強化に取り組む新規倉庫開設に引き続き取り組む <p><u>大手インフラ会社資材3PL</u></p> <ul style="list-style-type: none">使用システム開発を大手インフラ会社と共同で進め、事業拡大を進めるとともに、技術力を生かした新規取引先開拓に挑む <p><u>その他</u></p> <ul style="list-style-type: none">新規開設の小牧LC(25/2開設・5,127坪)を活かした名古屋地区での3PL業務拡大
一般物流事業	<p>輸送事業の拡大</p> <ul style="list-style-type: none">3PL事業の取引先である大手EC向け輸送業務の拡大首都圏輸送業務の拡大冷蔵・冷凍配送業務への参入 <p>▶冷蔵配送業務への新規参入</p> 
オフィスサービス 事業	<p>首都圏マーケットでの事業規模拡大および内装工事等の受注量拡大</p> <ul style="list-style-type: none">市場規模拡大が見込まれる首都圏での移転事業の強化継続内装工事(周辺)事業拡大

サステナビリティ経営の強化

- 2021年12月策定のサステナビリティ基本方針に基づき、各種取組を進めている。
- 2023年4月にはサステナビリティ経営の検討と推進を一元的に集約・強化する機能として、社長を委員長とする「サステナビリティ推進委員会」を設置。

ESG主要取組

E 環境

■低公害車導入推進



■エコドライブ推進

■気候変動に関する取組と情報開示

■CO2排出量削減

■ソーラーパネル設置

S 社会

■人的資本価値向上への取組

- ・人材育成
- ・人材確保
- ・労働環境整備



■安全に対する取り組み

- ・デジタルタコグラフと
ドライブレコーダー一体型機器の
導入

■社会貢献活動

- ・子どもを軸とした社会貢献活動



G ガバナンス

■ホールディングスによる グループ会社管理

■「指名委員会等設置会社」 への移行

■経営資源の最適な再配分機能強化

■取締役会・委員会実効性評価 による運営強化

1

会社紹介

2

成長戦略

3

決算概要

4

株主還元

5

トピックス

6

進化を続けるヒガシグループ

2026年3月期第2四半期累計の連結業績は、売上高267.9億円(対前年増加額 +48.2億円、増加率 +21.9%)、経常利益19.2億円(対前年増加額 +7.6億円、増加率 +65.2%)となり、ともに過去最高を更新

(百万円)	2025年3月期		2026年3月期					前年同期比	
	2Q累計	全体に占める割合(%)	2Q累計			上期業績予想	業績予想に対する達成率	増減額	増減率
			全体に占める割合(%)	上期業績予想	業績予想に対する達成率				
売上高	21,976	--	26,799	--	24,500	109.4%	+4,823	+21.9%	
売上総利益	4,084	18.6%	5,134	19.2%	--	--	+1,050	+25.7%	
販売費および一般管理費	2,979	13.6%	3,276	12.2%	--	--	+296	+10.0%	
営業利益	1,104	5.0%	1,858	6.9%	1,427	130.2%	+753	+68.3%	
経常利益	1,167	5.3%	1,929	7.2%	1,490	129.5%	+761	+65.2%	
親会社株主に帰属する当期(中間)純利益	689	3.1%	1,223	4.6%	960	127.5%	+534	+77.5%	

売上高

- 前年度に開設した大型3PLセンター(川西LC)の本格稼働
- 2024年10月より連結開始した(株)ネオコンピタンスの連結期間通年化
- オフィスサービス事業での大型案件受注
- 大手EC向け輸送業務の拡大、既存の大型3PLセンターでの取扱量の増加
- NEXT GIGAスクール構想に伴うICT機器の更新案件の受注
- ビルデリバリー事業での災害対策品販売のスポット案件受注



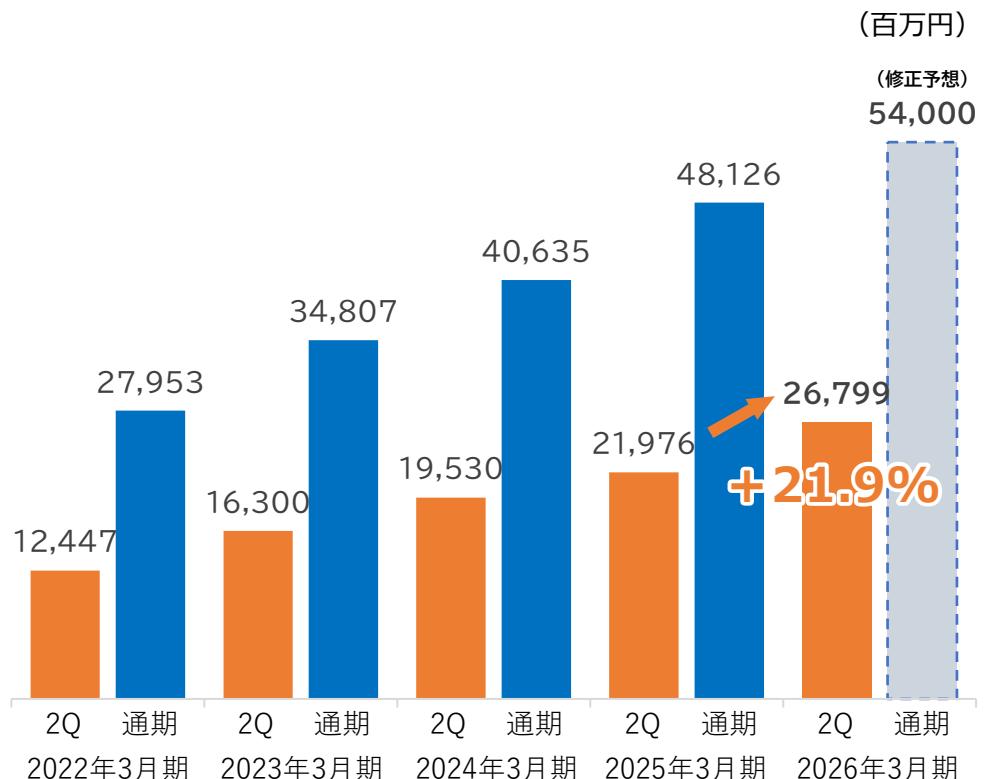
経常利益

- 上記記載の幅広い事業領域での増収に加え、既存の大手EC向け大型3PLセンターが安定稼働に入ったことにより、増益に貢献

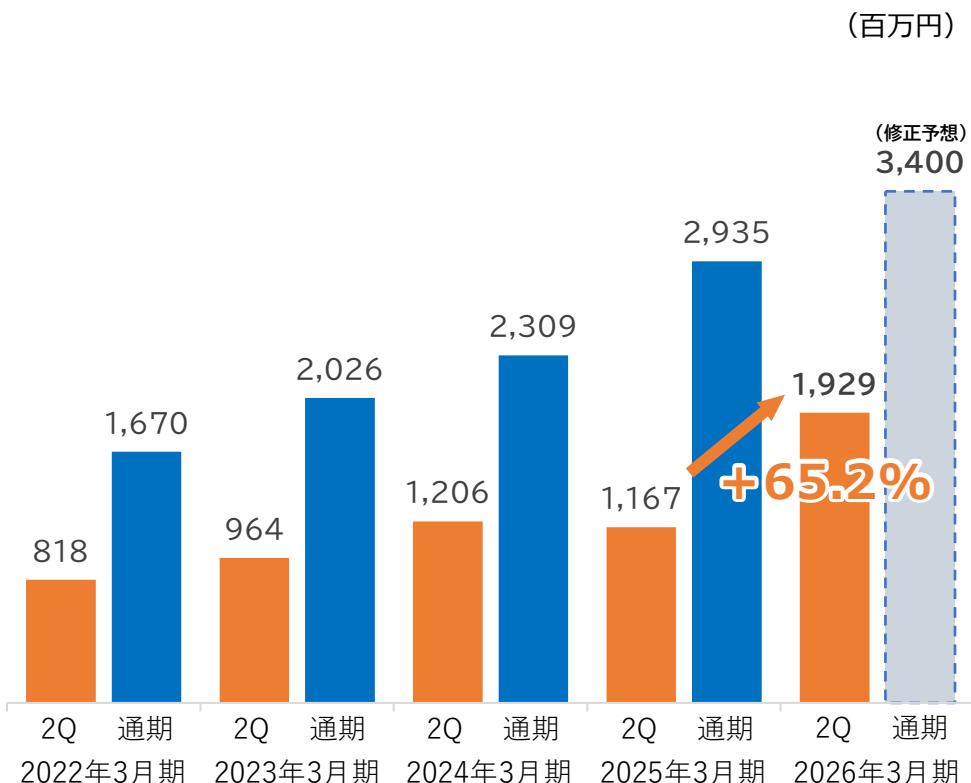


- 2023年3月期は2022年3月期下期に参入したインフラ資材購入業務の通年化や、山神運輸工業株及び株旅人の買収により成長、2024年3月期は大手EC向けに流山LC、北大阪LC、神戸西LCの開設等により成長、2025年3月期は大手EC向け配送業務への本格参入やビルデリバリー業務の拡張、首都圏における移転業務拡大、(株)ネオコンピタンスの買収により成長
- 当第2四半期累計についても前ページに記載のとおり、幅広い事業が成長を牽引しており、売上高・利益ともに上期業績予想を超過達成。下期も引き続き高い成長を見込んでいるため、通期業績予想の上方修正を実施(上方修正の詳細については次ページ参照)

売上高(第2四半期累計)



経常利益(第2四半期累計)



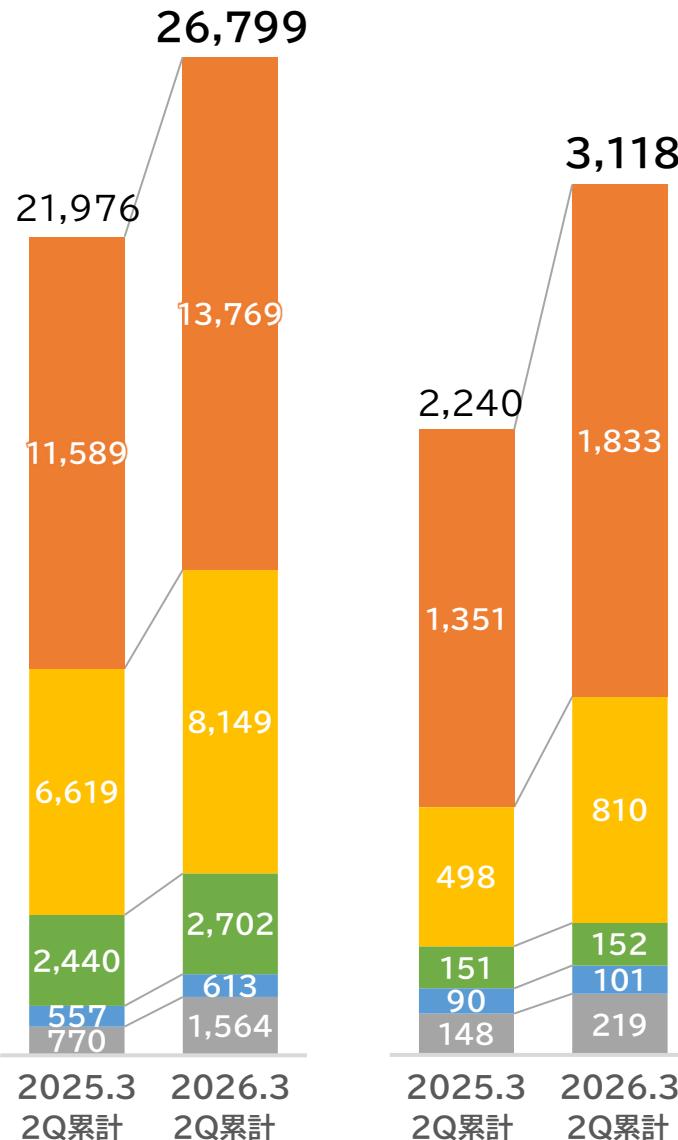
2026年3月期 第2四半期累計 セグメント別 売上高/利益 ①

セグメント別 売上高

(百万円)

セグメント別 利益

(百万円)



● 運送事業

オフィスサービス事業での大型案件受注、大手ECの拠点間輸送の受注拡大、NEXT GIGAスクール構想におけるICT機器の更新に伴うキッティング業務の受注、ビルデリバリー事業での災害対策品販売のスポット案件受注等により、增收増益

● 倉庫事業

いずれも10,000坪を超える大型3PLセンターである流山LC、神戸西LC、川西LCの稼働率が上昇したことや、その他の既存センターの作業効率化が進み、大幅な增收増益

● 商品販売事業

大手インフラ会社向け資材販売の取扱量が増加し增收

● ウエルフェア事業

前期に実施したお客様との距離を近づける小規模拠点の開設効果が徐々に顕在化し、增收増益

● その他事業

2024年10月より株ネオコンピタンスの新規連結を開始したこと等により、增收増益

2026年3月期 第2四半期累計 セグメント別 売上高/利益 ②

(百万円)	2025年3月期		2026年3月期		前年同期比	
	2Q累計	構成比	2Q累計	構成比	増減額	増減率
売上高	21,976	--	26,799	--	+4,823	+21.9%
運送事業	11,589	52.7%	13,769	51.4%	+2,180	+18.8%
倉庫事業	6,619	30.1%	8,149	30.4%	+1,530	+23.1%
商品販売事業	2,440	11.1%	2,702	10.1%	+262	+10.8%
ウエルフェア事業	557	2.5%	613	2.3%	+56	+10.1%
その他事業	770	3.5%	1,564	5.8%	+793	+103.0%

	2Q累計	利益率	2Q累計	利益率	前年同期比	
					増減額	増減率
セグメント利益	2,240	10.2%	3,118	11.6%	+877	+39.2%
運送事業	1,351	11.7%	1,833	13.3%	+481	+35.6%
倉庫事業	498	7.5%	810	9.9%	+312	+62.7%
商品販売事業	151	6.2%	152	5.7%	+1	+1.2%
ウエルフェア事業	90	16.3%	101	16.6%	+10	+11.7%
その他事業	148	19.3%	219	14.1%	+71	+48.1%

貸借対照表の推移

● 貸借対照表

(百万円)

	22/3期	23/3期	24/3期	25/3期	26/3期 2Q累計
資産合計	18,140	21,226	25,535	31,596	31,782
(流動資産)	9,147	10,927	11,737	14,017	14,072
(固定資産)	8,993	10,298	13,797	17,579	17,709
負債合計	8,276	10,355	13,223	18,087	17,355
(流動負債)	5,980	7,474	8,517	12,320	11,794
(固定負債)	2,296	2,880	4,706	5,766	5,561
純資産合計	9,863	10,870	12,311	13,509	14,426
負債・純資産の合計	18,140	21,226	25,535	31,596	31,782

財務指標の推移

● 財務指標

		22/3期	23/3期	24/3期	25/3期	26/3期(予想)	26/3期 2Q累計 (参考)
1	売上高(百万円)	27,953	34,807	40,635	48,126	54,000	26,799
2	営業利益(百万円)	1,475	1,908	2,190	2,739	3,256	1,858
3	経常利益(百万円)	1,670	2,026	2,309	2,935	3,400	1,929
4	売上高営業利益率(%)	5.3	5.5	5.4	5.7	6.0	6.9
5	売上高経常利益率(%)	6.0	5.8	5.7	6.1	6.3	7.2
6	総資産(百万円)	18,140	21,226	25,535	31,596	—	31,782
7	純資産(百万円)	9,863	10,870	12,311	13,509	—	14,426
8	1株あたり純資産【BPS】(円)	755.44	828.51	934.53	1,037.15	—	—
9	1株あたり純利益【EPS】(円)	85.92	96.82	114.49	136.77	166.59	93.76
10	自己資本比率(%)	54.4	51.2	48.2	42.8	—	45.4
11	自己資本利益率【ROE】(%)	11.9	12.2	13.0	14.0	—	—

売上高・利益ともに過去最高を見込んでいた当初予想から更に上方修正

- 当第2四半期累計は、先述の通りの幅広い事業での增收増益により売上高、利益ともに当初見込みを大幅に超過
- 下期においては、流山LC増床部分の稼働開始に向けた初期投資費用や、更なる業容拡大に向けた人材・車両・設備への投資等の支出を予定しているものの、通期でも売上高、利益ともに予算を超過する見込みであるため、上方修正を実施



(百万円)	2026年3月期 当初予想		2026年3月期 今回修正予想				(参考) 2025年3月期 実績	
	通期	全体に占める 割合(%)	通期	全体に占める 割合(%)	当初予想との差		通期	全体に占める 割合(%)
売上高	51,000	--	54,000	--	+3,000	+5.9%	48,126	--
営業利益	2,956	5.8%	3,256	6.0%	+300	+10.1%	2,739	5.7%
経常利益	3,100	6.1%	3,400	6.3%	+300	+9.7%	2,935	6.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益(円)	2,000	3.9%	2,176	4.0%	+176	+8.8%	1,805	3.8%
1株当たりの 当期純利益(円)	153.1	--	166.59	--	--	--	136.77	--

1

会社紹介

2

成長戦略

3

決算概要

4

株主還元

5

トピックス

6

進化を続けるヒガシグループ

株価の状況

4

株主還元

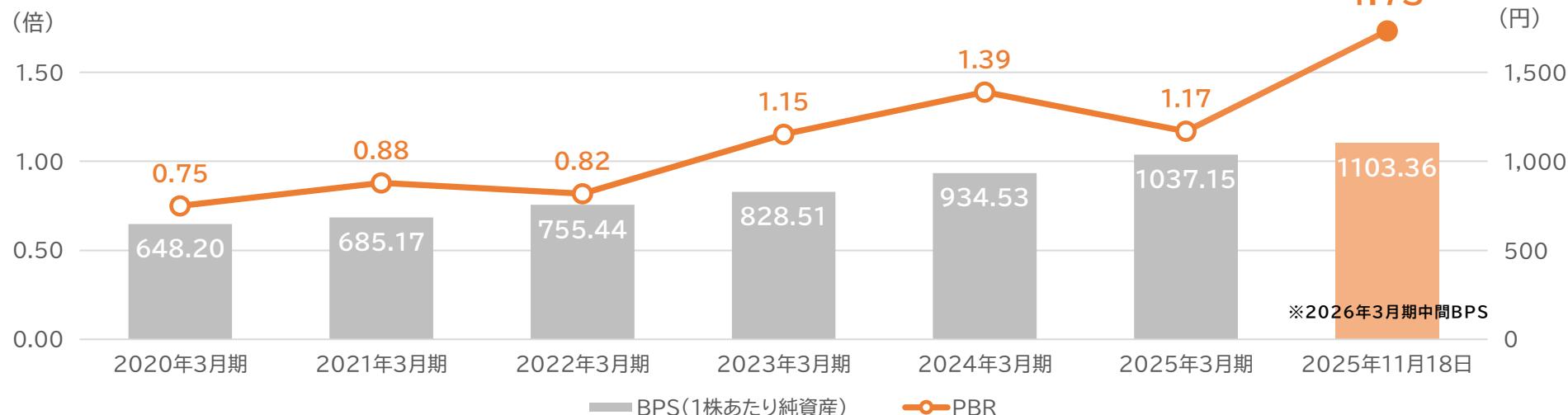
● 株価推移(2024/11/21-2025/11/21)



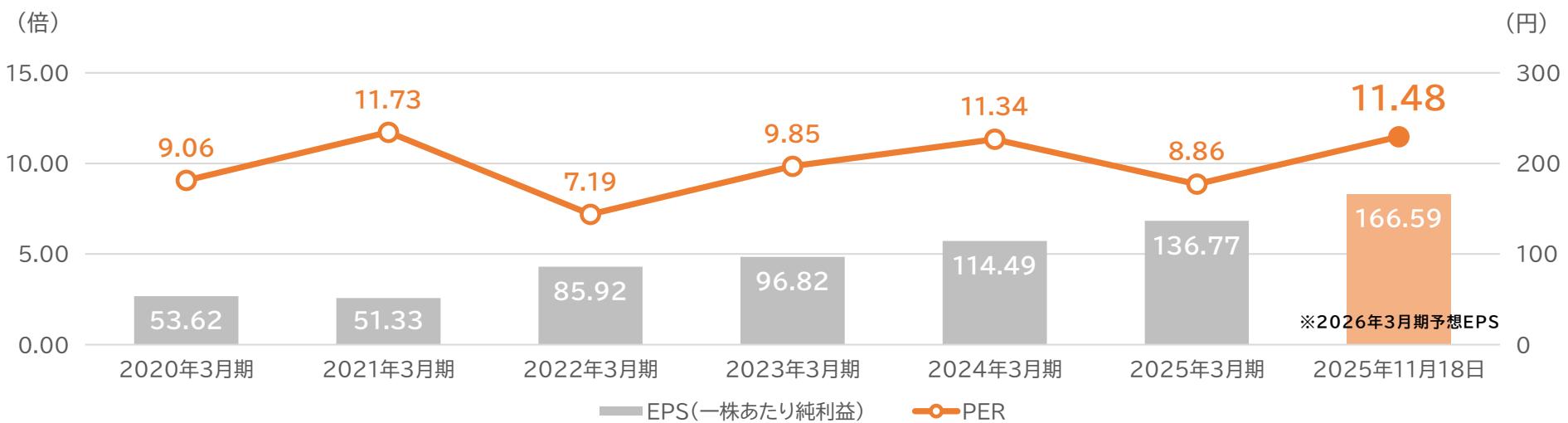
● 時系列株価(年足)

年	始値	高値	安値	終値	前年比	増減率
2025(11/21迄)	1,035	2,000	999	1,912	+877	+84.7%
2024	1,096	1,350	890	1,035	-49	-4.5%
2023	725	1,209	716	1,084	+366	+51.0%
2022	660	732	571	718	+78	+12.2%
2021	555	825	544	640	+82	+14.7%
2020	515	703	408	558	+41	+7.9%

● PBR/BPS

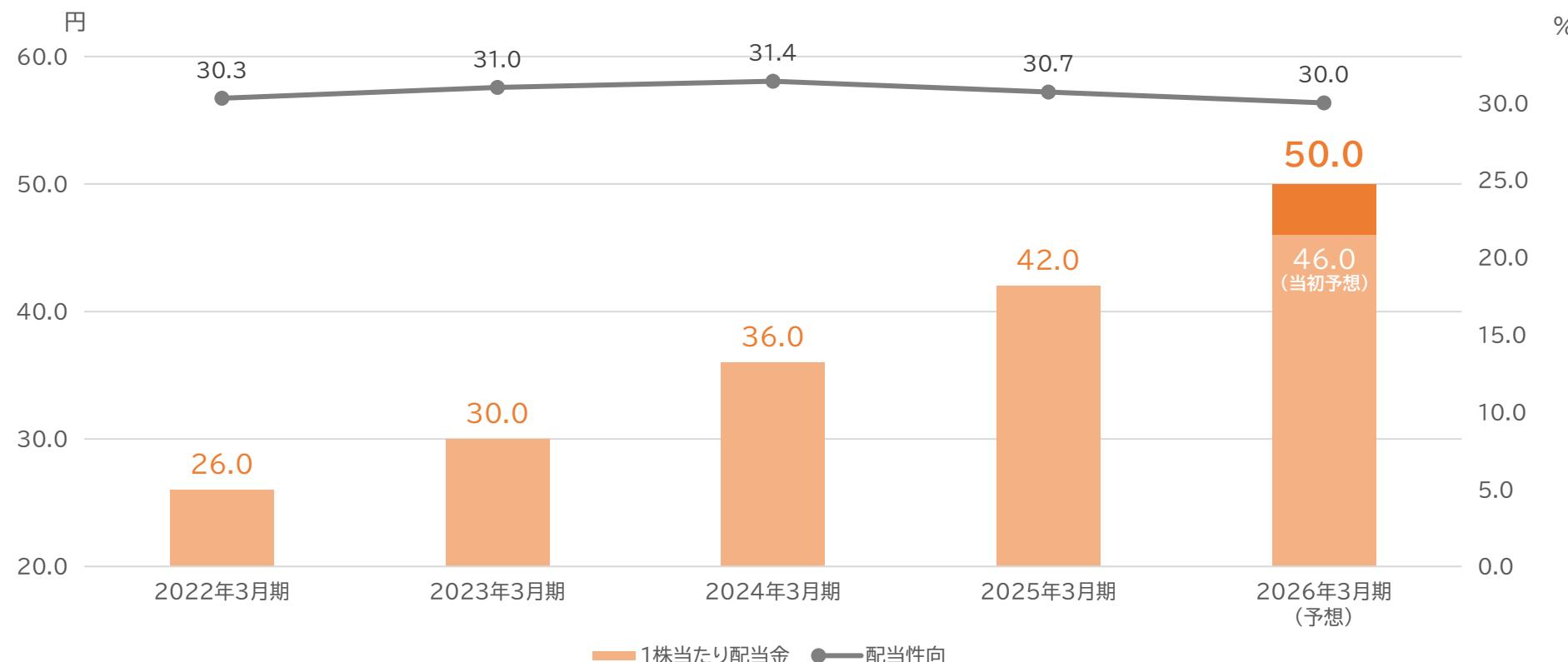


● PER/EPS



上方修正に合わせ、配当予想を**1株当たり50円**に修正

- 当社は株主の皆様への利益還元を重要課題の一つとして認識しており、連結配当性向30%以上を目安に、安定かつ継続的な配当を実施していく方針
- 配当予想は、当初予算を超過する見込みであることから前回予想の46円から4円積み増しし、1株当たり50円を予定

1株当たり配当金・配当性向の推移

制度内容

実施回数	毎年1回	
基準日	毎年9月末日	
優待内容	<ul style="list-style-type: none">① 500株以上1,000株未満保有の株主様 ⇒ 1,000円相当のクオカード② 1,000株以上2,000株未満保有の株主様 ⇒ 2,000円相当のクオカード③ 2,000株以上保有の株主様 ⇒ 4,000円相当のクオカード	
長期保有特典	500株以上を1年以上継続保有の株主様	⇒ 1,000円相当のクオカード

1,000株保有時の計算例（2026年3月期予想 / 予想通りの配当50円の場合）

※1 配当日は2026年6月：50円予想/株

※2 株価は2025年11月21日基準：1,912円/株

● 株主優待除く

$$\frac{\text{受取配当金}}{50\text{円}^{※1} \times 1,000\text{株}} \div \frac{\text{投資金額(時価)}}{1,912\text{円}^{※2} \times 1,000\text{株}} \times 100 = 2.62\%$$

受取配当金
50円^{※1}×1,000株
=50,000円

投資金額(時価)
1,912円^{※2}×1,000株
=1,912,000円

● 株主優待込み

$$\left(\frac{\text{受取配当金}}{50,000\text{円}} + \frac{\text{受取株主優待}}{2,000\text{円}} + \frac{\text{長期保有特典}}{1,000\text{円}} \right) \div \frac{\text{投資金額(時価)}}{1,912,000\text{円}} \times 100 = 2.77\%$$

受取配当金
50,000円

受取株主優待
2,000円

長期保有特典
1,000円

投資金額(時価)
1,912,000円

ご参考：プライム市場の株式平均利回り 2.05% / スタンダード市場の株式平均利回り 2.20%
※東京証券取引所公表資料(2025年11月末時点)

1

会社紹介

2

成長戦略

3

決算概要

4

株主還元

5

トピックス

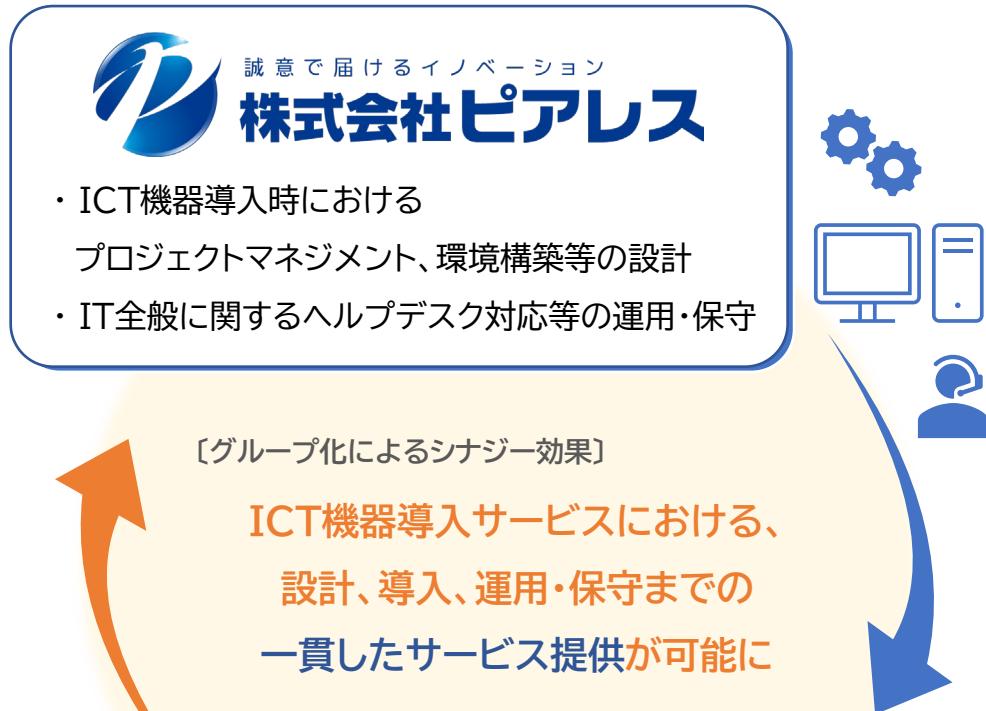
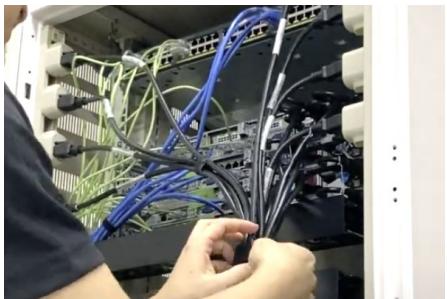
6

進化を続けるヒガシグループ

- 2025年6月に**株式会社ピアレス**(直近の売上高:3.9億円)が当社グループに加わりました。
- 当社グループが展開しているITサービス事業の業務対応力が強化され、ICT機器導入サービスにおける設計、導入、運用・保守まで一貫したサービスが可能となり、更なる事業拡大を目指します。

<株式会社ピアレス>

所在地	東京都墨田区江東橋5-13-13 ナガオビル3階
代表取締役	鈴木 謙
設立	1995年11月
資本金	10百万円
事業内容	首都圏でのICT機器の導入時におけるシステムの企画、キッティング、データ消去、サーバー構築に加え、常駐・リモートによる運用支援や障害対応といった幅広いITサービス事業を展開



株式会社FMサポート21が新拠点でのビルデリバリー事業を開始しました。

- 当社グループの株式会社FMサポート21では、独自のノウハウを活かし、高層ビル内配送を効率化する「ビルデリバリー事業」を展開しています。
- 近年の都心大規模再開発の機会を捉えたビルデリバリー拠点の拡大を着実に進めており、2024年12月にはグラングリーン大阪南館(大阪府)、2025年2月には虎ノ門アルセアタワー(東京都)、2025年4月にはツイン21MIDタワー(大阪府)、2025年5月には赤坂トラストタワー(東京都)での新規ビルデリバリー業務を開始しております。

■ グラングリーン大阪南館



提供:グラングリーン大阪開発事業者

■ 虎ノ門アルセアタワー



提供:日鉄興和不動産株式会社

■ ツイン21MIDタワー



■ 赤坂トラストタワー

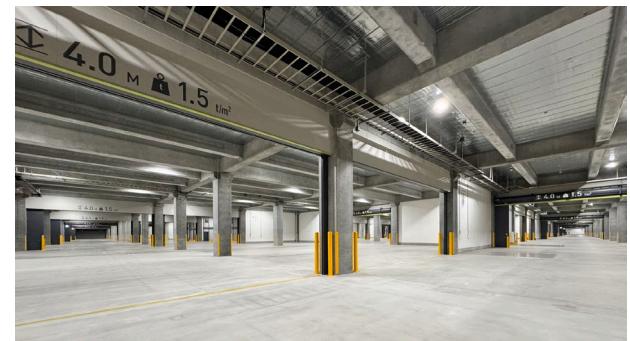


3PL事業の拡大に伴い、既存の大手EC向け大型3PLセンター流山LCを増床いたします。

- 当センターは 2023年4月の開設以来、大手EC向け大型3PLセンターとして順調に稼働を続けており、この度、3PL事業の業務拡大を受け、増床に至りました。
- 今回の増床により、延床面積は現在の約14,871坪から約29,533坪へとほぼ2倍となり、当社グループ史上最大規模の3PLセンターとなります。また、増床部分は2026年5月以降、順次稼働開始を予定しております。

■ 流山LC 増床部分概要

稼働開始	2026年5月
所在地	<p>〒270-0104 千葉県流山市森のロジスティクスパーク一丁目383番地11</p> <p>常磐自動車道「流山IC」から約2.5km</p> <p>都心25km圏内</p>
延床面積	<p>14,662.8坪 (内訳:倉庫・バース 14,359.00坪、事務所 303.80坪)</p>

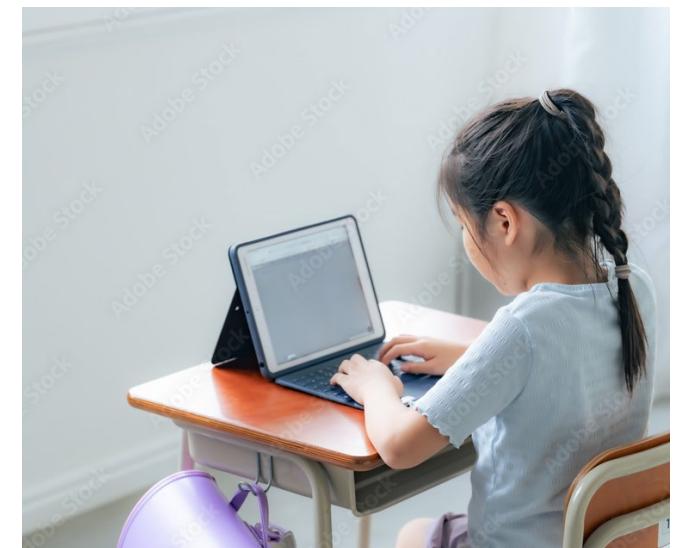
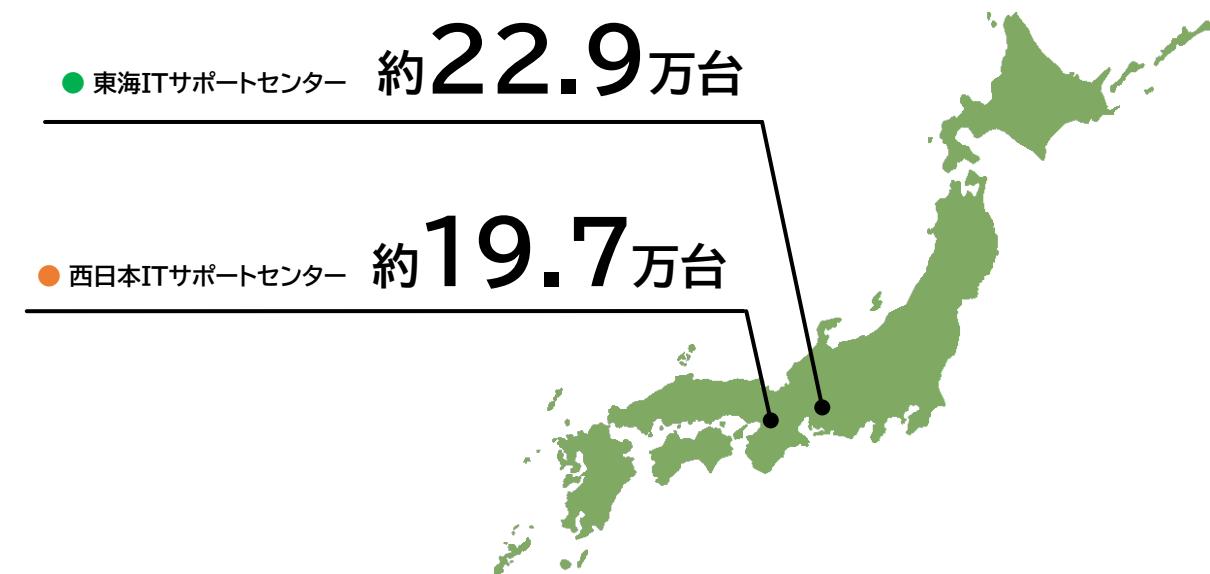


<トピックス④> NEXT GIGAスクール構想に伴う案件受注

ITサポート事業部が『NEXT GIGAスクール構想』に関わる端末更新案件を受注しました。

- 当社グループの株式会社ヒガシトウエンティワンITサポート事業部において、文部科学省が推進する「NEXT GIGAスクール構想」に関連する案件として、全国の教育現場で活用されるICT機器のキッティング業務を受注いたしました。
- 当事業部は2020年の「GIGAスクール構想」初回導入時にも多数の自治体向けにサービス提供を行いました。その作業品質とサポート体制、物流領域で培った柔軟なオペレーション提案力を評価いただき、今回の継続受注に至りました。
- 2025年度の受注台数は延べ40万台以上に上り、教育現場の円滑なデジタル学習環境の維持・発展に寄与しております。

2025年度受注台数(2025年10月現在)



1

会社紹介

2

成長戦略

3

決算概要

4

株主還元

5

トピックス

6

進化を続けるヒガシグループ

Evolution for Customers

全進で未来へ “シンカ”

進化
1

物流に対するニーズの変化への対応

—— 関電ロジネット事業部

一般物流

預かった商品を運ぶ
従来の輸配送業務



3PL

提供された入出荷データに基づき商品の保管・配送・在庫管理等をトータルで受託



商社形態

資材の仕入れや
協力会社への販売業務、
受発注システムの開発



進化
2

競合との差別化

— (株)FMサポート21

ビルデリバリー事業の競争が激化

- ・ビル管理会社からの固定管理料の削減要請
- ・物流大手のビルデリバリー事業への参入

● 固定管理料の大幅な引き下げを実現

(0円で入札に参加することも)

● 利益確保のため、

テナント企業の総務代行業を強化

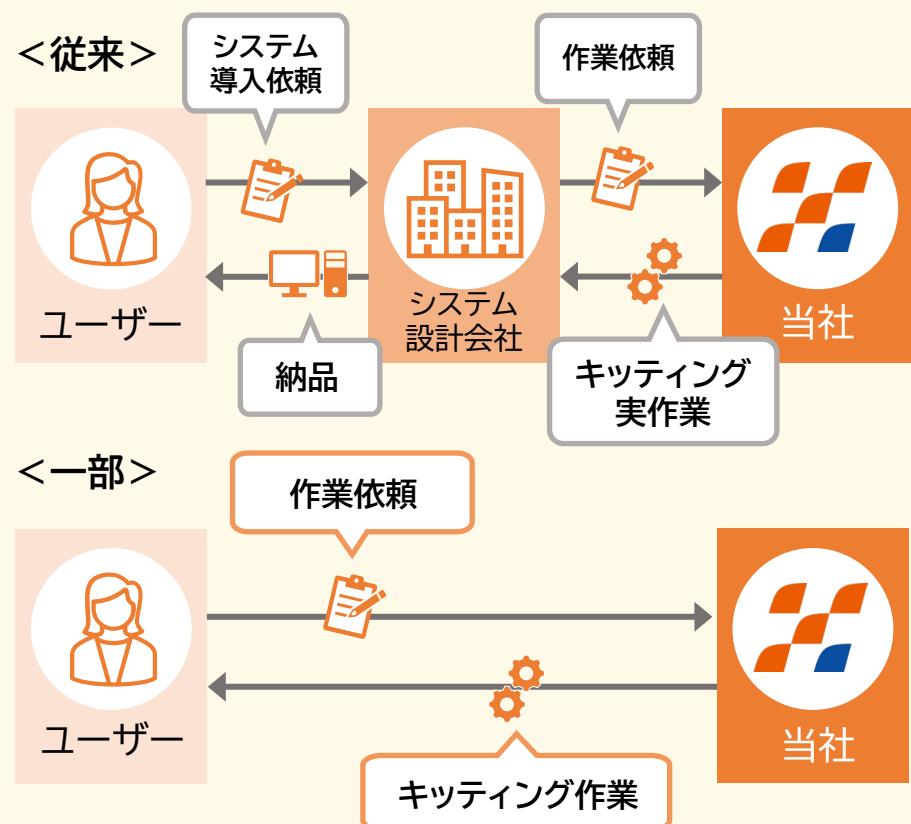
- ・受付業務、会議室運営
- ・オフィス移転
- ・備品の購入代行 等

進化
3

商流の変化

— ITサポート事業部

- 従来の多重下請け構造を、
エンドユーザーからの直接受注へ
エンドユーザーのコスト削減、当社の適正利潤確保を実現



Evolution for Customers

全進で未来へ “シンカ”

(注意事項)

- 本資料は、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資への勧誘を目的としたものではありません。
- 記載されている内容は、ヒガシグループの将来についての計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれております。これらの記述は、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定及び所信に基づく見込みです。また、経済動向、市場需要、税制や諸制度などに関するリスクや不確実性を含んでおります。このため、将来の業績は当社の見込みと異なる可能性があります。
- 今後、新たな情報・将来の出来事等があった場合でも、当社は、本資料に含まれる業績に関する予想及び見通しの記述の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

■コーポレートサイトおよびその他SNS

<https://www.e-higashi.co.jp/> その他、各種情報を配信しておりますのでぜひご登録ください！！



公式Xはこちら



公式noteはこちら



IRメール配信のご登録はこちら